



平成 28 年 8 月 1 日

報道各位

日本最大級の広告賞
「2016 56th ACC CM FESTIVAL」
4 部門の応募総数は 2,685 本！

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟（略称：ACC、東京都港区、理事長：高田 坦史）では、今年で 56 回目を迎える「2016 56th ACC CM FESTIVAL」フィルム部門、ラジオ CM 部門、マーケティング・エフェクティブネス部門、インタラクティブ部門の作品募集を 6 月 1 日（水）から実施、4 部門の応募総数は 2,685 本となりました。

各部門別の応募本数は、フィルム部門 1,776 本（A カテゴリー-1,409 本、B カテゴリー-367 本）、ラジオ CM 部門 570 本、マーケティング・エフェクティブネス部門 94 本、インタラクティブ部門 245 本です。

そのうち、今年度 14 のサブカテゴリーごとの審査を行うインタラクティブ部門では、サブカテゴリー応募数が 523 本となり、審査対象としては前年度を大きく上回る結果となりました。

各部門の内訳と前年比および、インタラクティブ部門サブカテゴリー内訳は別表の通りです。

なお、全部門の入賞作品は、9 月 28 日（水）18 時頃 ACC ホームページにて発表し、11 月 1 日（火）の「2016 56th ACC CM FESTIVAL 贈賞式・記念パーティ」にて顕彰する予定です。

（於：東京都港区・ANA インターコンチネンタルホテル東京）

また、それに先立ち、マーケティング・エフェクティブネス部門では、ファイナリスト作品（一次通過作品）を 8 月 4 日（木）ACC ホームページにて発表する予定です。

今後も、「ACC CM FESTIVAL」では、より多くの秀逸な作品を選出し、CM の質的向上と CM 業界の発展に貢献するべく努めてまいります。

本件に関するお問い合わせ

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ユニオンビル 6F

TEL : 03-3500-3261 FAX : 03-3500-3263

www.acc-cm.or.jp

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟 担当：平川美穂



◆4 部門の内訳と前年比

(※前年比は、小数点以下四捨五入)

部門名	2016年度	2015年度	増減	前年比
フィルムAカテゴリー (全国)	870	952	-82	91%
〃 (地域)	539	495	44	109%
フィルムBカテゴリー	367	326	41	113%
小計	1,776	1,773	3	100%
ラジオ (全国)	397	388	9	102%
〃 (地域)	173	199	-26	87%
小計	570	587	-17	97%
マーケティング・エフェクティブネス	94	69	25	136%
インタラクティブ	245	180	65	136%
合計	2,685	2,609	76	103%

◆インタラクティブ部門 サブカテゴリー内訳

サブカテゴリー名	応募数
オウンドメディア	28
オンラインアド	8
Web キャンペーン	45
オンラインビデオ	66
モバイル	42
デジタル・ツール+ウェアラブル・デバイス	25
アウトドア・メディア+デジタル・サイネージ	15
リアルイベント×インタラクティブ	49
マスメディア×インタラクティブ	8
ソーシャルメディア	31
ブランデッド・コンテンツ	93
キャンペーン・インテグレーション	24
ニューテクノロジー (IoT、AR、VR、AI、ビッグデータなどを含む)	44
広告的発明	45
サブカテゴリー応募計	523



【ACC とは】

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟(All Japan Radio&Television Commercial Confederation)は、CM 関係事業者の共通認識の醸成と表現の質的向上を図りながら、視聴者の視点に立った CM のあるべき姿を追求し、社会的・文化的貢献を目指して活動しております。

ACC は、よい CM の制作と放送の実現に寄与することを目的に公益法人として設立され、広告と放送に関係する広告主・広告会社・制作会社・放送会社の 4 業種のメンバーで構成され、業種の枠を超えて視聴者の視点、グローバルな視野から CM の発展を推進しています。

【ACC CM FESTIVAL とは】

1961 年よりテレビ、ラジオ CM を対象にした広告賞として、「ACC CM FESTIVAL」を開催しています。2010 年には「マーケティング・エフェクティブネス部門」を、2014 年には「インタラクティブ部門」を創設。また、2015 年には「テレビ CM 部門」から「フィルム部門」へと改称し、「A カテゴリー（テレビ CM）」、「B カテゴリー（Online Film）」の 2 つのカテゴリーを創設しました。

名実ともに、日本最大級の広告賞として広く認知されており、総務大臣賞／ACC グランプリは広告関係者の大きな目標となっています。